

# 2月予算議会がはじまります

2月予算議会が始まります。日本共産党北九州市会議員団を代表して、5名の議員が質問に立ちます。物価高騰への本気の対策、武内市長の市政運営のあり方、子育て・高齢者福祉、医療や介護を守る課題、学校給食の無償化、そして会計年度任用職員の処遇改善や男女賃金格差の是正など、市民の暮らしと直結する問題を取り上げます。税金の使い道が本当に市民のためになっているのか、将来に責任を持てる市政なのかを問い、市民の声を議会に届けていきます。



## 質問内容と登壇者



**高橋 都** 議員 代表質疑 90分

- 武内市長の市政運営
- 物価高騰対策（中小事業者支援・下水道減免・公共交通支援・学校給食）
- 子育て支援
- 高齢者福祉の充実
- 赤字の公共施設への税金投入

### 市民1人11円 これで物価高対策？

物価高が続く中、12月議会で示された市の対策は1000万円、市民1人あたり約11円にすぎず、他党派からも「不十分」との声が上がり、日本共産党市議団は344億円の基金を活用し、全市民に届く独自支援を求めました。2月議会で抜本対策を求めます。



**伊藤 淳一** 議員 一般質疑 30分

- 市立病院機構の経営問題

### 市立病院の経営危機 医療を守る立て直しを

医業本体の赤字の病院が全国で7割に上る状況の中、医療センターや市立八幡病院を経営する地方独立法人北九州市立病院機構の2024年度決算は、2億2千万円の債務超過に陥る深刻な状況です。医療センター建て替えや人材確保、処遇改善等々を求めます。



**永井 佑** 議員 一般質疑 30分

- 学校給食無償化・質の向上
- 人工呼吸器ユーザーの災害時支援

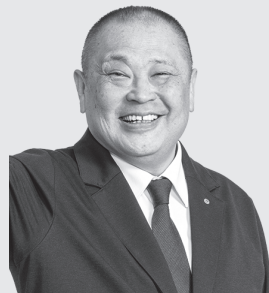
### 学校給食の無償化を 実現させましょう

国でもついに小学校からの実施を明言しました。北九州市でも、農業の発展と一体に質の向上を図りながら、中学校や特別支援学校でも実現させるために提案します。

## 議会日程

2月26日(木) ～27日(金)	代表質疑・一般質疑
3月 2日(月) ～5日(木)	一般質疑
3月 6日(金)	常任委員会
3月11日(水) ～16日(月)	予算特別委員会
3月19日(木)	予算特別委員会(市長質疑)
3月24日(火)	議会運営委員会
3月25日(水)	本会議(閉会)

請願・陳情の締め切りは2月18日(水)です



**山内涼成** 議員 一般質疑 30分

- 会計年度任用職員(保育士)

### “3年で資格”でいいの？ 保育の質と処遇を問います

人手不足を理由に、資格がなくても3年働けば正式な保育士資格が得られる制度が進められています。しかし、専門教育を経て取得する国家資格が同等に扱われてよいのでしょうか。背景にある低賃金や過重労働の改善こそ必要です。議会で市の姿勢をたします。



**荒川 徹** 議員 一般質疑 60分

- 下関北九州道路建設
- 介護保険料の負担軽減・事業所支援
- 北九州市の地球温暖化対策

### 「下関北九州道路」の計画の中止を

建設費の地元負担もあいまいなまま、完成後は赤字必至の大型事業推進の中止を求めます。

### 介護保険の負担軽減と事業所支援を

保険料とサービス利用時の重たい負担を軽減するとともに、人手不足と赤字に苦しむ介護事業所への支援を求めます。

### 北九州市の地球温暖化防止の積極的な取り組みを

気候危機を深刻化させている地球温暖化の防止へ、市として事業者を後押しして、温室効果ガスを減らすための踏み込んだ対策を求めます。

FOR ONE MILLION SMILES

# 100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2026. 2.18  
No. 599

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団ホームページ⇒





北九州市の令和8年度予算案は6,477億円で過去最大です。市は「成長加速予算」として、「人・投資・経験があつまるまち」を掲げています。

しかし中身をみると、増えた主な理由は

- 福祉・医療費の自然増
- 職員の給与改定
- 借金の利払い増
- 物価高によるコスト増

など、やむを得ない増加分が中心です。

## ■ 実質は+ 242 億円の拡大

今年は、昨年のような200億円の基金積立がないため、表面上は+ 42億円増に見えます。

しかしそれを除くと、実質は+ 242億円の拡大予算です。

税収は過去最高の1,925億円。市税や交付税も増えています。



それなら、物価高で苦しむ市民の負担軽減にもっと回せるのではないでしょうか。

## ■ 暮らし応援は十分？

福祉関連の予算が増えています。多くは高齢化の進展などによる自然増です。

いま必要なのは

- 国保や介護保険料の負担軽減
- 子どもの教育費のさらなる軽減
- 給食費や保育料の支援強化
- 物価高対策の拡充 です。

一方で、公営競技の収益金75億円を財源に充てるなど、ギャンブル収益頼みの財政が広がっている点も気になります。

## ■ 「成長」よりも「暮らし」 空港、観光、都市ブランド —

外からの投資を呼び込む政策も大切ですが、市民の暮らしを底上げすることこそ、地域経済を強くする一番の近道です。

税収が増えている今こそ、「市民の生活を守る予算」へと転換するべきです。



# 北九州市の「〇〇大作戦」

## その正体は？

### 1 派手なネーミング — でも

「〇〇大作戦」とは、\*\* 新しい政策体系ではなく、既存事業や国の補助金事業を束ね、分かりやすい名前を付け直した“政策パッケージ” \*\* です。

多くの場合、予算規模・制度設計・人員体制は従来の延長線上にあり、「大作戦」という名称ほどの抜本的転換は伴っていません。



中身は従来型、見せ方だけが刷新された施策が正体です。

### 2 表向きの狙い — 市が言っていること

市が掲げる狙いは、

- 市政のスピード感を示す
- 市民や企業の参加を促す
- 北九州市の「前向きな姿」を発信する

というものです。

特に「参加」「挑戦」「官民連携」「にぎわい」といった言葉を用い、市政を明るく、動きのあるものとして印象づけることが目的とされています。



政策そのものより“伝え方”を重視する狙いが強く見られます。

### 3 決定的に足りない視点 — 日本共産党の問題提起

最も欠けているのは、

「市民の暮らしがどれだけ楽になるのか」という視点です。

- 生活費の負担軽減
- 賃金・年金・福祉の底上げ
- 格差是正
- 公共サービスの安定供給

といった視点が十分に示されていません。

その結果、



行政の責任が「市民参加」や「民間努力」に置き換えられ、本来、公が担うべき役割が後景に退いています。

### 4 なぜ「検討会」ではなく「大作戦」なのか

本来であれば、

- 課題の検証
- 財政影響の分析
- 市民合意の形成

を行う\*\*「検討会」や「計画」\*\*が先行すべきです。

それを飛ばして「大作戦」と名付けるのは、

- 成果が曖昧でも評価を受けやすい
- 失敗しても検証責任を問われにくい
- 市長の政治姿勢を演出しやすい

という側面があるからです。



政策論より演出を優先する市政運営の象徴といえます。

### 5 総評 — 日本共産党の立場

今の北九州市の大作戦は、

- 名前は大きい、責任は小さい
- スローガンは派手だが、生活改善は控えめ
- 市民参加は強調されるが、公的責任は曖昧

という特徴があります。



私たちが求めるのは、\*\*「イベント型の大作戦」ではなく、市民の暮らしを土台から支える恒常的な政策\*\*です。

〇〇大作戦はにぎやかですが、暮らしがどれだけ良くなったかは別問題です。

日本共産党は、名前より中身、演出より責任を重視します。

## 日本共産党市議団は、暮らし最優先の立場で予算をチェック

今回の総選挙で、自民党は単独で憲法改正の発議可能な国会の3分の2を超える議席を獲得しました。国会では来年度の国の予算案の審議が本格化します。国の財政運営の方向性を受けて、自治体においても新年度予算案の審議が行われる重要な時期を迎えています。日本共産党北九州市会議員団は、市民の命と暮らしを守ることを最優先に、国政の動きを注視して、みなさんの声を届けます。



### 日本共産党各議員の常任委員会配置（◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員）

総務財政委員会	経済港湾委員会	都市ブランド・教育委員会	保健福祉子ども委員会	環境水道防災委員会	都市戦略整備委員会
永井 佑	大石 正信	◎高橋 都	伊藤 淳一	○荒川 徹	☆山内 涼成
		宇土浩一郎			